

(様式3) 合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成28年12月

1. 対象事業	金沢市公共下水道事業
2. 実施主体名称	金沢市
3. 計画期間	平成17年度～平成25年度
4. 対象事業の進捗状況	<p>計画に基づき、以下の対策を実施した。</p> <p>■汚濁負荷量の削減及び公衆衛生上の安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金沢駅周辺雨水増補幹線の設置 ・3つの雨水滞水池の設置（浅野雨水ポンプ場系統：6,000m³、浅野ポンプ場系統：1,500m³、七ツ屋ポンプ場系統：3,000m³） <p>■夾雑物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七ツ屋ポンプ場・浅野ポンプ場：雨水スクリーン目幅の縮小（粗目40mm → 細目25mm） ・雨水吐き室の改造：スクリーン設置（元車）、閉鎖（セントラル）
5. 目標達成状況と達成の見通し	<p>[目標達成状況]</p> <p>■汚濁負荷量の削減（分流式下水道並み）</p> <p>BOD放流負荷量：対策前567,301kg/年 → 目標値428,017kg/年 → 対策後425,905kg/年（改善率100%）</p> <p>■公衆衛生上の安全確保（未処理放流回数の半減）</p> <p>未処理放流回数：対策前300回/年 → 目標値150回/年 → 対策後107回/年（改善率100%）</p> <p>■夾雑物の削減（夾雑物の流出防止対策）</p> <p>夾雑物の流出防止対策：七ツ屋ポンプ場・浅野ポンプ場にて雨水スクリーン目幅の縮小を実施し、各雨水吐き室の改造を実施した。（改善率100%）</p>
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	<p>モニタリング調査（平成28年9月8日実施：総降雨量21.5mm）において、滞水池等への貯留が確認され、雨水の影響が大きい時におけるBOD平均放流水質（総放流負荷量）について以下の改善効果が推測された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策前の平均放流水質（滞水池等を活用しない場合） 14.7mg/L ・対策後の平均放流水質（滞水池等を活用した場合） 11.3mg/L
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<p>第1期対策（平成17年度～平成20年度）において、雨水吐き室の改造に加え、増補管の設置及び雨水ポンプ場のスクリーン目幅の縮小を行った。</p> <p>第2期対策（平成21年度～平成25年度）において、城北水質管理センターに浅野雨水ポンプ場系統、浅野ポンプ場系統及び七ツ屋ポンプ場系統の3つの滞水池を設置し、平成26年度に対策を完了した。</p>
8. 今後の方針	<p>事業の完了により、当面の改善目標は達成したことから、今後は貯留・浸透施設の導入や地下水涵養等の水循環保全に取り組む予定である。取り組みに当たっては、広く住民に理解してもらうための広報活動を行っていく。</p>